

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	女性対象コース		
事業名	広告・印刷業界を目指す女性のためのデザイン・スキルアッププログラム		
法人名	学校法人新潟総合学院		
学校名	国際アート＆デザイン専門学校		
代表者	理事長 池田 祥護	担当者 連絡先	佐藤 雅之

1. 事業の目的

現在、広告・印刷関連業界ではDTPオペレータやWebデザイナーが不足しているものの、デザイン関連スキルを身に付ける場所や機会が限られている。

そこで本事業では、出産、育児などから復帰して再就職を希望する女性に、広告・印刷系企業と連携しながら、短期間で集中的に実践的なグラフィック・Web系ソフトの習得機会をつくり、広告・印刷等デザイン関連業界を中心とした再就職を目指す講座を開催した。受講対象を、結婚・育児をしながら再就職を目指す女性とするにあたり、講座開催日時を家族の協力が得られやすい週末土曜日の午後に設定した。併せて、近隣の保育園と連携し託児希望者に対応を行うことで、子育てしながらも安心して受講できる環境を整備した。

講座開設に当たり、受講生満足度80%、受講生の就職率70%を設定してデザイン業界関係先への就職を目標とした。

2. 事業の実施に関する項目

①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）

●実施期間

H21年8月29日～H22年2月13日までの毎週土曜日に開講（21日間／84コマ）

●開催時間

13:20～17:10（50分授業で4コマ）

●カリキュラム内容

講座の目的に照らし、デザイン業界の必須スキルおよび就職支援をテーマとした下記カリキュラムを作成・実施した。

広告・印刷業界で求められる必要な基本スキルから、Webサイトの制作、管理までをトータルに無理なく実践的に学ぶために、カリキュラムの約80%を実習にあて、即戦力として業界就職が可能な内容とした。求人需要の高いDTP（デスクトップパブリッシング）スキルとWeb（インターネット）制作実習を中心に、マルチメディアやプレゼンテーションの実習も加え、限られた期間で必要なスキルを集中的に身に付けることを目指した。

□DTP 概論・実習（20 時間）

- ・DTP（デスクトップパブリッシング）と商業印刷の基礎を学ぶ。
- ・Illustrator と Photoshop を使い、名刺やA4版チラシの制作を実習する。

□マルチメディア概論・実習（12 時間）

- ・インターネットの基本的なしくみと各種サービスの利用について学ぶ。
- ・インターネットコミュニケーションツールとしてのブログの活用方法を学ぶ。
- ・デジカメを使った静止画や動画の撮影について実習する。

□Web デザイン概論・実習（36 時間）

- ・Web サイト構築に必要な基礎知識を学ぶ。
- ・Dreamweaver を使った Web サイト制作を実習する。
- ・Flash を使った Web コンテンツ制作を実習する。

□ビジネスパソコン（3 時間）

- ・Microsoft Word と Excel の基本操作を学ぶ。

□プレゼンテーション（4 時間）

- ・自身の制作物のテーマとコンセプトをまとめ実際にプレゼンテーションを行う。
- ・発表者の作品についての理解とコミュニケーション手法を実習する。

□総合ガイダンス（1 時間）

- ・自己紹介、講師紹介、受講ルール説明等

広告・印刷業界を目指すための就職支援として、業界との交流を目的に「就職講演会」を設定し、デザイン業界の現状と求められる求人像について講演頂いた。また、業界の研究のために「職場見学」を実施し、実際の現場のデザイナーとの情報交換や質疑応答により理解を深めた。さらに「職場見学」では、デザイン会社の経営トップからの「デザイン講話」を頂き、さらなるスキルアップのヒントとなった。就職活動や求人情報については、気軽に問い合わせや相談が出来るようにメールによる連絡形態を採用し、受講生の都合に合わせた柔軟なコミュニケーションツールとした。

□就職講演会（2 時間）

- ・業界クリエイターに講演頂き、業界を取り巻く環境や求められる求人像について学ぶ。

□就職実務（2 時間）

- ・求人情報収集から就職決定までの活動内容を確認し、具体的な就職活動実務を習得。

□職場見学（4 時間）

- ・現場のデザイナーとの情報交換や実務内容を見学し、就職活動やスキルアップのためのヒントを習得。

講座の実施にあたっては受講生と学校間の連絡、問合せ、課題の提出などタイムリーかつスピーディーなコミュニケーションを実現するツールとしてメーリングリストを活用した。また、一週間に一度の講座開催の間をつないでいくため、更には受講生同士の意見交換を活発にしコミュニケーションを円滑にするために、インターネット上の掲示板サービスを利用した。講座期間の後半は、受講生自身が運営するブログも活発となって受講者同士も打ち解け、就職に対する情報交換も頻繁に行われるようになった。

②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

受講者募集に当たっては、主に下記の方法を用いて行った。

1. 県内 2500箇所へ講座受講生募集チラシをDM郵送
2. 過去3年間の本校社会人講座受講生へ募集案内
3. 本校ホームページ上（ブログ形式）にて講座告知と募集案内

その結果、定員15名のところに20代から50代まで幅広く27名の応募者があり、内部書類選考により定員15名を選んだ。クリエイティブ業界を目指すにあたって最低限のパソコンスキルや業界が求める年齢層、そして就職に対する意欲を加味し選考した。

③受講者の状況

●受講者人数

女性15名（内訳：20代・4名／30代・9名／40代・2名）

いずれも受講開始時点では定職に就いておらず、専業主婦やアルバイトで生活しているとのことであった。

●託児利用状況

受講生15名中9名の方の子供（総人数12名）が利用した。受講者の欠席等の事情により保育園の利用率は約80%であった。

昨年は全国的にインフルエンザの流行もあり、受講生の方やその子供たちも少なからず影響が出ていたため、講座に出席できなかったり保育園を利用できないなどの状況があった。

□利用者状況

受講生	託児人数	内訳	利用日数	延べ人数
Aさん	3	1歳・3歳・5歳	20	60
Bさん	1	4歳	18	18
Cさん	1	2歳	13	13
Dさん	1	6歳	18	18
Eさん	1	3歳	21	21
Fさん	2	2歳・4歳	16	32
Gさん	1	1歳	19	19
Hさん	1	0歳	7	7
Iさん	1	3歳	16	16
合計	12			204

※欠席等の事情により利用率は80.9%（204日/252日）となった。

④受講者の意識調査等

●受講生の満足度アンケート調査の結果を見ると、93%の方が「大変満足」「満足」と回答されており、非常に満足度の高い講座となったと考える。一方、「習得するまでには時間数が足りない」「学ぶ期間に比して学ぶ範囲が広すぎる」との不満も記載されており、次回のカリキュラム改善要素として検討ていきたい。

●アンケート調査結果

大変満足2人（13%） 満足12人（80%） 普通0人（0%）
不満1人（7%） 大変不満0人（0%）

●主な理由

- ・土曜日の午後ということで、曜日・時間帯ともに参加しやすかったです。
- ・充実したカリキュラム、テキストでとても満足しています。
- ・先生方は、とても一生懸命に基礎から丁寧に教えてくださり、質問がしやすい環境でした。
- ・いつも決まった席で受講でき、一人一台のパソコンで良かったと思います。
- ・机の位置によってはプロジェクトや黒板が見づらい所がありました。
- ・託児できるところが近くにあって、とても助かりました。
- ・利用した子供が、楽しかったと言っており安心でした。
- ・就職講演は、厳しい雇用状況を教えて頂き、身が引き締まる思いでした。
- ・職場見学での社長様の講話は、とても勉強になりました。デザイナーさんともっと話したかったです。
- ・自分だけでは学べなかつたことが、出来るようになったので大変満足です。
- ・授業時間数をもっと増やしてほしいと思います。
- ・6ヶ月での講座としては学ぶ範囲が広すぎると思います。
- ・自分自身の基礎力不足で、授業についていくのがやっとでした。

⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

受講者15人中、12人が規定の出席時間数に達したので、本校独自の「修了証明書」(受講科目・受講時間を明記)を交付した。

本講座を修了した女性12名中、再就職が決まった方は10名(83.3%)であった。出席時間数が足りなかった3名の方は体調不良により療養後の活動予定となっている。

受講後の就職状況

NO.	受講生	出席率	就職状況	就職者数	職種(備考)
1	Aさん	100.0%	就職決定	1	公共機関一般事務(派遣社員)
2	Bさん	28.6%	就職未決定	—	体調不良で半分以上欠席(療養中)
3	Cさん	95.2%	就職決定	1	食品販売会社デザイン業務(パート社員)
4	Dさん	85.7%	就職決定	1	製造会社一般事務(派遣社員)
5	Eさん	61.9%	就職未決定	—	体調不良(療養中)
6	Fさん	81.0%	就職決定	1	製造会社一般事務(パート社員)
7	Gさん	95.2%	就職未決定	—	業界就職目指し活動中
8	Hさん	90.5%	就職決定	1	建築会社デザイン業務(パート社員)
9	Iさん	100.0%	就職未決定	1	販売会社一般事務(パート社員)
10	Jさん	76.2%	就職未決定	—	体調不良(療養中)
11	Kさん	90.5%	就職決定	1	建築デザイン会社デザイナー(派遣社員)
12	Lさん	33.3%	就職未決定	—	業界就職目指し活動中(夫が転勤予定)
13	Mさん	100.0%	就職決定	1	医療関係一般事務(派遣社員)
14	Nさん	71.4%	就職決定	1	デザイン会社DTPオペレーター(派遣社員)
15	Oさん	95.2%	就職決定	1	建築会社一般事務(パート社員)
合計		80.3%		10人	(修了者12人に対する就職率:83.3%)

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

受講生満足度の当初設定値80%に対してアンケート調査結果は93%、就職率の当初設定値70%に対して83%となり当初目的を達成したといえる。

就職決定者の就職先については、10名中4名が受講内容を生かしたデザイン業界就職及びデザイン業務に関する就職を果たし、他の6名はそのほとんどが一般事務職の就職という結果になった。雇用形態としては、契約社員1名、派遣社員4名、パート社員5名である。再就職を取り巻く環境が非常に厳しい状況にある中、正社員での採用はなかったものの、今回の受講をきっかけに8割の方の再就職につながったことは一定の成果があったと考える。講座終了時までには就職を果たせず就職活動中の2名の方は、受講内容を生かしたデザイン業界の就職先を求めて活動中である。

今回の受講がきっかけとなり社会復帰へのさらなる意欲を表す傾向があり、こうした講座を継続する事によって確かに子育て中の女性の方々の就労意欲を引き出しながら高めていくことができると実感する。

②事業の成果及び改善点

主な成果は下記のとおり

1. 女性に対するデザイン基礎技術の教育カリキュラムの完成
2. 地域保育園との連携による託児体制の確立
3. 地元デザイン業界との教育プログラムの連携

なお、デザイン業界就職を目指すために、業界のデザイナーを招いた「就職講演会」や業界の会社を訪問する「職場見学」の設定についてであるが、受講生のための土曜日の午後という時間帯が、業界の方々に依頼するには難しい曜日・時間帯であることがわかり、次年度に関しては改善する必要がある。また、カリキュラム内容に比して受講回数が足りない、受講期間を長くしてほしいなどの要望にもこたえられるよう検討する。

③次年度以降における課題・展開

社会情勢はますます厳しく、就職したいが就職できない人々が多く存在する状況において、子育ての最中であっても前向きに社会復帰を目指し、就労意識を高めていける機会と環境の提供は今後ますます必要と考える。

今回までの講座開催実績をふまえ、社会的諸事情により離職されている方々を対象とした再就職支援プログラム及びスキルアッププログラムを開発、実施していきたい。

④成果の普及

今回の講座についてのレポートとして、本校ホームページ上（ブログ形式）にアップロードし、その成果報告として広く閲覧していただいている。

<http://www.art-design.ac.jp/blog/2010/03/skillupreport.html>